

# ガーデンシクラメン 楽しみ方ブック



I  CYCLAMEN



## 元肥 マグアンプK ガーデンシクラメンには

植物が元気に育つためには、肥料が必要です。  
とくに、植えつけ、植え替え時には、土に混ぜ込む元肥が必須。  
花にも野菜にも、元肥選びには、ゆっくり長く効きめが長く、  
マグアンプKがおすすめです。



◇土に混ぜ込むだけ、  
超カンタン!

◇1966年の  
発売以来、  
ロングセラー!

# マグアンプK

## ガーデンシクラメンって？ 鉢植えミニシクラメンとの違いは？

ミニシクラメン



ガーデンシクラメンって？  
鉢植えのミニシクラメンとの違いは何でしょう？  
それは、品種の違いではなく、店頭に並ぶまでの生産のされ方の違いなんです。  
寄せ植えや庭植えなど屋外で楽しめるガーデンシクラメンは、たくさんのミニシクラメンの中から、より花持ちのよい品種、より強い品種を選び、そして連続開花性をよくするためにホルモン剤の使用を控え、また長く楽しめるように、見た目よりも健康的な根を作ることを重視して生産されたものです。

うに生産されたもの。  
ガーデンシクラメンは長く楽しめるように見た目よりも強さを重視して生産されたもの。  
ですので同じ品種が鉢植えやガーデンシクラメンで出回ることがあるのです。  
品種についてもう少しお話ししますと、ガーデンシクラメンにはたくさんのミニ品種の中から丈夫な性質を有するF1品種（一代交配種）が主に選ばれて生産されています。ガーデンシクラメンがデビューしたのが1996年。それはミニシクラメンのF1品種が開発されて間もない頃でした。  
F1品種の登場によりミニシクラメンをより気軽に屋外で楽しむことができるようになったのです。



## 楽しみ方いろいろ



■ 庭植えで  
ガーデンシクラメンと言え  
ば庭植え。霜があまり降り  
ないところ、また氷点下が  
続かないような地域でした  
ら春まで楽しめます。植え  
方などの情報は次ページ以  
降をご参照ください。



1. 花を全体に散らしてカラーリーフとからませてみたり。
2. 個々を独立させて植えつつ全体の調和も考えて。
3. 壁掛けリングに。シクラメンは横向きに植えると数日して花首が起き上がるんです。
4. 同系色の組み合わせ。あまり考えずとも見映えのする失敗のない寄せ植えです。



■ 寄せ植えで  
一番のおすすめはやっぱり  
寄せ植え。様々な花苗や色  
とりどりのカラーリーフと  
組み合わせれば、その魅力  
が格段にアップします。そ  
してなんととっても急な寒  
さや、雨のときでもすぐに  
移動し避難させることがで  
きますので長く楽しむことが  
できます。

■ 鉢植えで  
もともと屋外で長持ちさせ  
るために作られていますの  
で鉢植えのままでも楽しめ  
ます。植え替えるもよし！  
ポットのままお気に入りの  
鉢に入れてもよし！です。



フラワーガーデン泉

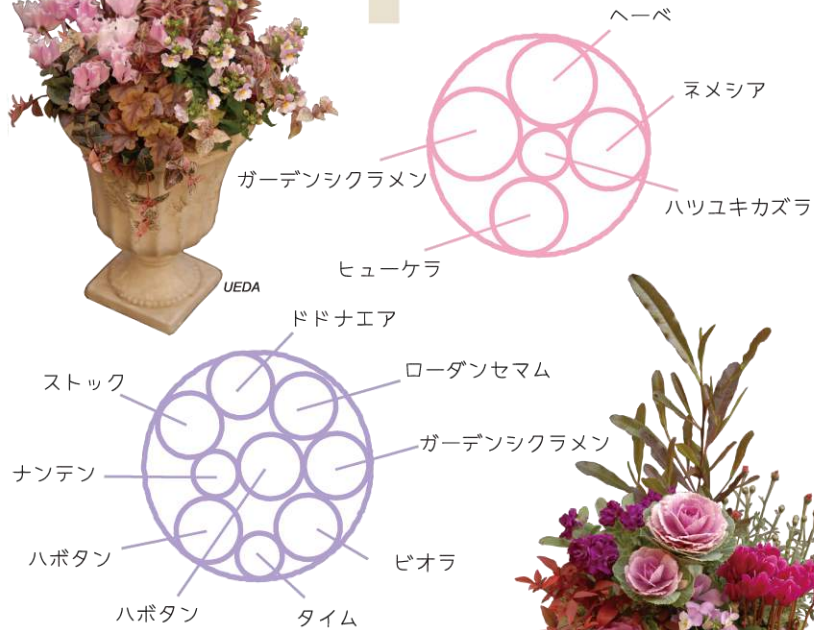


フラワーガーデン泉





## 植えるとき



植えるときは、全体の彩りや配置などを考えてみてください。9月～10月中旬頃に植えるときは気温や湿度がまだ高く灰色カビ病に注意が必要です。のでぎゅうぎゅうに詰め込まないようにしましょう。それ以降は気温、湿度が低くなるのである程度詰め込んでも大丈夫です。

球根や芽が土に埋まらないように注意してください。

土は市販の培養土でOKです。元肥が入っていないければ『マグアンプK』などの元肥を入れて植えると春先までよく咲いてくれます。



## 苗を選ぶとき

お店で苗を選ぶとき、どのようなことに注意すればよいのでしょうか？葉色がよく株がしっかりしているもの、健康的で白い根が張っているもの、などいろいろなことを耳にしながら店頭でそれを判断することは難しいと思います。

だから！信頼できるお店で買う！お店の方は市場でたくさんの商品の中から信頼できる生産者さんが生産したものを利益をしながら仕入れています。普段からよいものを取り揃えているお店でしたら間違いないはずですよ。

でもせっかくなので、よい苗を選ぶときの簡単なポイントをご紹介します。

### カビ



健全な芽がある



健全な芽がない



黄色い葉っぱがない

カビが生えていたり芽が不健全ではない



9月～10月中旬頃

まだまだシクラメンにとっては気温が高い日があり、ひとつひとつの花は比較的早く終わってしまいます。この時期に選ぶ場合は蕾をたくさん蓄えているかどうかチェックしてみてください。その蕾がちょうど寒くなる頃咲き始めます。寒い時期に咲く花はとても長持ちします。

9月～10月中旬頃

まだまだシクラメンにとっては気温が高くて、ひとつひとつの花は比較的早く終わってしまいます。この時期に選ぶ場合は蕾をたくさん蓄えているかどうかチェックしてみてください。その蕾がちょうど寒くなる頃咲き始めます。寒い時期に咲く花はとても長持ちします。

10月下旬頃～12月

気温が低くなってきてひとつひとつの花が長持ちする時期です。シクラメンを楽しむには最も適した時期と言えるでしょう。この時期に選ぶなら、花がたくさん咲いている苗がおすすです。そして小さな蕾はゆっくりと生育し年明け頃に咲いてくれるでしょう。



フラワーガーデン泉

## 置き場所を考える



ガーデンシクラメンをなるべくきれいな状態で春まで楽しむために大切なこと、それは育てる環境、すなわち置き場所です。

寒い時期のシクラメンの生育は緩慢です。蕾が開花するまで結構時間がかかり、花が早くに終わってしまうと次の花が咲くまで間があいてしまうのです。きれいな状態が長く続くというの

な状態が長く続くというの、ひとつひとつの花が長持ちしている状態です。

ガーデンシクラメンが長持ちする環境とは、

1. 適度に寒い(暑くない、継続的に暖かくない)
2. 霜・寒風があたらぬ
3. 適度に日があたる

カビの発生を防ぐには予防が大切です。ポイントさえ押さえれば簡単です。手間も大してかかりません。

## カビに注意する



ガーデンシクラメンの大敵、灰色カビ病。

株の内部が蒸れたり、終わった花を放置して茎がしなびたりすると発生します。

株内部、球根付近に発生してしまうと、蕾などにも感染し咲かなくなってしまうことも。また病気の原因などにもなりますので注意が必要です。

1. できれば風通しがよく適度に日あたりがよい場所を選ぶ。
2. 雨があたる場所はなるべくさけ、水をやるときは株に直接かけるのではなく土にかけろ。
3. 温度、湿度が高い時期に寄せ植えするときあまり詰め込みすぎないようにする。
4. 終わった花は茎を球根のつけねからひねるように丁寧に取り除く。
5. 可能であれば定期的に殺菌剤を散布する。

## 肥料をやる



ハイポネックスジャパン

最高気温は15度くらいまで最低気温は5度くらいまでの時期は花がとて長持ちします。一方暖房がきいた室内のように20度以上の状態がずっと続くと生育が早まってしまい、光や水や肥料の管理がしっかりできないと、草姿が乱れ、花も長持ちせず、美しさが早くに損なわれてしまいます。春が終わる頃、暖かくなってくとシクラメンの草姿が乱れ始めるのはこのためです。一方、寒風や霜があたるころでは枯死はしません。花や葉が傷みやよくなります。氷点下が続くようなところはなるべくさけた方がよいでしょう。

また強い光は必要ありません。午前中など半日程度光があたる場所や木漏れ日のような光があたる場所で大丈夫です。

4. 雨があまりあたらない

ガーデンシクラメンの大敵、灰色カビ病。近年シクラメンはよりたくさんの花が咲くよう改良されていて、それに伴い葉数が多くなっています。そのため秋に雨が長く時期などは株内の風通しが悪くなり、蒸れが原因で灰色カビ病が発生しやすくなります。特に温度湿度が高い時期は株に雨があたらないようにすることや、水を直接株にかけないこと、また水のやりすぎに注意することが長く楽しむためのポイントです。

春までつぎつぎと咲いてもらうために肥料をやりましょう。植え込むとき、植え替えるときは『マグァンプK』などの元肥を土に混ぜます。そして植え付け一ヶ月後くらいから『プロミック』などの固形肥料がおすすです。特に秋は雨の日が続くと土が乾きにくく、水に薄

めて使う液体肥料をやるのができないことがあります。そんなときでも固形肥料を土の上に置いておけば肥料供給できます。また雨の時期が終わり、晴天が続くようになってきたら『ハイポネックス原液』などの液体肥料を水に薄めて定期的にやるとよいでしょう。月に一回程度、水やり回数二〜三回に一回程度です。冬であっても氷点下にならないような温暖な地域でしたらガーデンシクラメンは生育します。ただ冬はそれほど土が乾かないから水やりの回数は少ないですね。これは食事の回数が少ないことと同じです。少ない回数で食事でもしっかり栄養をとってもらうために、冬であっても定期的に肥料をやってください。



## Q&A

### 花のトラブル

**Q** 土が湿っているのに花がしおれるのはなぜ？

**A** 水分の蒸散量に対し根からの吸収量が足りない状態と考えられます。水のやりすぎで根腐れをおこしていたり、肥料が濃すぎて根が肥料やけをおこしている可能性があります。また日陰にあった株を急に日差しが強いところに移動すると水分の蒸散に対し吸収が追い付かないことも。他にはシクラメンがまだ寒さになれていないのに急な寒さや降雪などで根に一時的にストレスがかかったりするとこのような症状がでることがあります。このようなくまきしおれているからと水をやってしまわないよう注意しましょう。乾いていなければ水はやらずに直射日光があたらない場所や

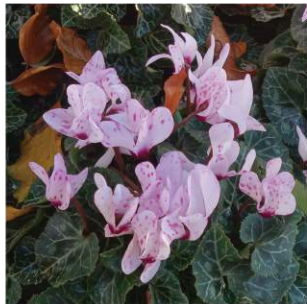
温度が高すぎず、低すぎない場所へ移ししばらく様子を見てください。いずれ回復してくれると思います。

**Q** つぎつぎと花が咲きません。

**A** 株が傷んでいるということではなければ、花が咲き終わってしまい次の花が追いついて咲いてこない状態ではないでしょうか。一般的に株の中の小さな蕾が開花するのに1〜2ヶ月かかると言われています。温度が低ければさらに時間がかかります。または購入した時点で蕾があまりついていなかったことや、日あたりが悪く生育不良になっていること、カビや乾きが原因で蕾が枯死していること、病気で蕾が枯死していることなどの可能性もあります。まずは株の中を見て蕾の状態を確認してみてください。

**Q** 花にブツブツ模様が！

**A** 灰色カビ病です。15度〜20度くらいで、湿度が高い環境で出でやすい病気です。すぐに取り除けばそれほど問題はありません。注意が必要なのはこの花が株の上や中に落ちそこからカビが発生することです。また花にカビが発生したということは株の中にも発生し



ている可能性がありますので、株内をチェックし、だめになった葉や茎などは取り除いてください。

**Q** 花が低い位置で咲いてしまいます。

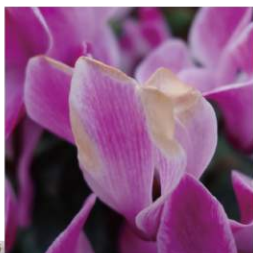
**A** 原因は判断しにくいのですが、寒かったことや、肥料の何かの成分が極端に多かったこと、強い風があったことなどが原因で伸びきれなかったことが考えられます。温かくなれば戻ってくると思います。



寒さや乾きなどによる花弁の傷み。品種によって出にくいもの、出やすいものがあります。



今から約140年前、1878年にイギリスで刊行された「The Garden Assistant」という雑誌に掲載されたシクラメンの石版画です。良く見ると、たくさん咲いている花の中にブツブツ模様の灰色カビ病にかかった花が描かれています。昔から身近な病気だったのですね。





## Q&A

### 葉・株のトラブル

**Q** 株が萎えて球根が腐っているようです。

**A** 軟腐病だと思えます。原因は細菌です。球根が腐る症状以外にも葉が黄色くなったり葉に黒く丸いシミのようなものが出たりします。残念ながら治す方法はありません。他の株への感染をさけるためにも、この

ような株はすぐに廃棄してください。



軟腐病で萎えた株



軟腐病で腐った球根

**Q** 株が軟弱になり花が咲かず葉が少なくなってきました。しまいました。

**A** 雨に長くあたっていたが、水のやりすぎで多湿に

なっていたことが考えられます。加えて日あたりがよ

くなく光不足もあったかも知れません。株内にカビが生えていたり、新芽が傷んでいたりして新しい葉や蕾が展開していないことはないですか？ 弱った状態を回復させてやらないと新たな葉や蕾が出てきません。

まずは株内の掃除が必要で、腐っていたり干からびていたり、カビが生えていたりする葉や茎を掃除してください。また茎が密集して風通しが悪そうでしたら何本かは間引いてしまった方がよいでしょう。そして日あたりのよい場所に移動してください。寄せ植えでしたらその株を抜いて一回り大きい程度の鉢に移した方が回復させやすいでしょう。水のやりすぎには注意してください。



光不足で葉が傷み、株内で干からびて今にもカビが生えそう。また徒長した葉もある。

きれいに掃除して根鉢より少し大きめの鉢に植え、日あたりのよい場所で養生を！

**Q** 葉が黄色くなります。

**A** いくつか原因が考えられます。まずは光不足。株の中の光があたらない葉が黄色くなることがあります。

次は乾き。株を極端に乾かしてしまったりいくつかの葉が黄色くなったりします。黄色い葉はもとは戻らなく、腐ってカビが生えることもありますので取り除くのがよいでしょう。

注意が必要なのは萎凋病（イチヨウビヨウ）です。葉の中心（葉柄の部分）から黄化していきます。また株の片側部分の葉が黄化したりします。やがては株が萎え、球根が腐って行きます。治す方法はなく他への感染を防ぐためにも発見したときはすぐに廃棄してください。



萎凋病（株の片側部分の葉が中心から黄化する）



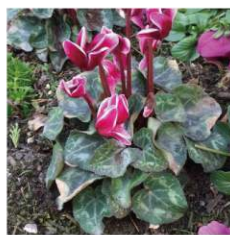
乾きが原因の黄化



光不足が原因の黄化

**Q** 葉の周辺が茶色になります。

**A** 日あたりがよく、寒いところ（5度以下になるようなところ）で水が足りなく乾かしてしまうとこのような症状が現れることがあります。乾かしすぎに注意してください。なお、寒いときに水をやるときはなるべく日中に行い、夕方以降にやるのは避けましょう。



**A** 乾きで黄化したり凍結でにこった葉色になること

**Q** 葉色が悪いです。



病気による葉の縁に丸い斑点模様。伝染するのですぐに廃棄を！



凍結による



葉裏にダニがいます

があります。葉の表面がかすれたように白っぽくなってきたらダニがついていると思われる。





2018年6月28日 初版第1刷発行  
2019年10月4日 第2版第1刷発行

編集・発行元

たけいち農園 代表 田島 嶽

埼玉県本庄市児玉町下真下114 (埼玉農場)

URL : <https://www.gardencyclamen.com>

E-mail : [gardencyclamen@yahoo.co.jp](mailto:gardencyclamen@yahoo.co.jp)

ガーデンシクラメンに関するご質問がございましたら上記メールアドレスまでお問い合わせください。なお生産者のため作業等の都合ですすぐにご返信できない場合がございます。

また通信販売、庭先販売等は行っておりません。

協力

上田広樹(Flower Shop LOBELIA)

フラワーガーデン泉

株式会社ハイポネックスジャパン

西本敬子(Flower space K)

モレルディフュージョン

本書の内容を許可なく複製、転載、複写することは禁じられています。

## Q&A

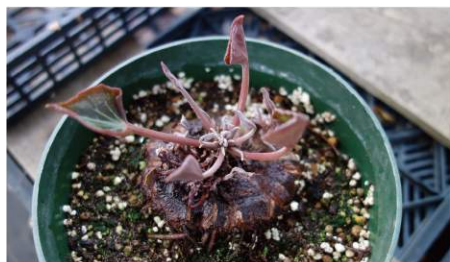
### 夏越し

**Q** 夏越しのやり方は？

**A** 高温多湿がにがてなシクラメン。夏は暑さ回避とダニや病気の防除がポイントです。そして夏越しには葉をとって球根だけの状態にしてしまいうり方と、葉を残したままにするやり方のふたつがあります。

■ 球根だけの状態にするやり方

休眠法と言われるやり方です。(より強くより早く咲くように改良されている園芸種でこの方法をやった場合、本当に休眠していると言えるのか、休眠という言葉が正しいのかは疑問が残るところですが・・・)夏になる頃、意図的に水や肥料をやめるのをやめて葉を枯らせ、球根だけの状態にして夏を越させます。暑さ、直射日光を避け、風通しのよいところで管理します。葉がないので水やりはあまり必要なく、時々やる程度で大丈夫です。肥料も必要ありません。球根だけの状態になるので不安になります。球根が堅ければ生きています。秋になる頃に葉が始めますので、乾



球根だけの状態からの秋の芽吹き

きに注意し徐々に水やりの回数を増やし、薄めの肥料や固形肥料をやり始めてください。この方法はダニや病気のリスクが少なく手間がかからないメリットがあります。一方、秋から葉が展開しその後の花芽形成となりますので、開花は暮れから年明け以降になります。

■ 葉を残すやり方

ガーデンシクラメンは地植えなど直射日光があたりとても暑い環境でなければ夏も葉は残ったままです。葉を残して夏越しさせる場合も暑さ、直射日光を避けなるべく涼しく、風通しのよいところで管理します。乾きに注意して水をやり、夏の間は肥料を控えます。葉を残すやり方の一番のポイントとはダニや病気の防除です。殺虫剤、殺菌剤の使用が必要ですが、もしダニが発生し、広がりを抑えられなくなってしまうときは葉を取り除き、球根だけの状態にする夏越し方法へ移行することをおすすめします。葉を残す夏越しのやり方のメリットは、早ければ秋から開花が始まることです。